

地域の皆様の声がバス路線を継続に！

3月20日、横浜市会本会議において平成19年度予算が可決成立しました。その中には、「市生活交通バス路線維持制度」や「市バス路線暫定運行事業」の予算が計上されています。これにより、南区内を通る11系統や79系統の運行が継続されることになりました。

仁田まさとし議員は、昨年の9月13日の本会議で、市営バスの再編計画に対し「市民が不安を抱かないよう、その維持方策について一日でも早く明らかにすべき」と代替施策の提示を強く要望。また、11月には「暫定運行措置」も追加策として示されました。公明党は、維持制度の3年後の見直しを廃止を前提にしたものではないと当局に確認しつつ予算に賛成しました。

共産党は「生活交通バス路線維持制度」（11系統）と

「バス暫定運行事業」（79系統）を含む予算になんと反対！

それに対し共産党は、それらの制度・事業が含まれる予算に反対しました。民間バスを前提とする維持制度や暫定運行に賛意を示しながらも、市営バスで

の存続を求めるといふ、まったく無責任な主張を繰り返しています。本当に「市民の足」を守り抜いたのは、地域の皆様の大きな声と、仁田まさとし議員の議会での真摯な取り組みです。これまでも、共産党の議会活動について、中田宏横浜市長は「（共産党は）いつも逆のことばかり言っている（中略）全然説得力はないと思う」（04年3月2日、予算第一特別委員会）などと批判してきましたが、今回改めて共産党の無責任ぶりが浮き彫りになりました。

横浜市会本会議で発言する
仁田まさとし議員



4月1日からは、神奈中バスが走る11系統

本会議の討論で無責任を指摘！

仁田議員は、バス問題に対する共産党の無責任な態度を本会議で指摘しました。あわてた共産党の議員は、議長に対し弁明の「議事進行」を申し出ましたが、話にならない内容とその場で却下。議長の再三の制止にも耳を傾けず、ルール無視。市民の大事な請願の声を利用する共産党のパフォーマンスが、明らかとなりました。



vol.15

横浜市議員 仁田まさとし

ニッタオンライン

NITTA Online

<http://www.nitta-m.jp>

発行

仁田まさとし

〒232-0066

横浜市南区六ッ川4-1129

TEL 045-822-3410

FAX 045-826-0998

人間主義へ
挑戦！